

ここが聞きたい

ズバリ町政を問う

一般質問は議員個々の自由編集（会議録にもとづき）で掲載しております。
詳細は会議録をご参照ください。掲載は質問順としています。

生活環境

プラの袋を大きく

答弁：状況を把握したい

大熊 則雄 議員



大熊 新しいプラスチックの袋が小さいので、大袋を作ることができないか。

生活環境課長 資源の再利用は人類に課された大

きな課題です。プラ袋に2割から2割5分の可燃ゴミ、プラマークがついてない物や汚れた物が混入しており、袋が小さいと言われていると思われる。当面は複数の袋の使用で御協力をお願いしたい。

通学路の安全対策

答弁：今後見直しをする

大熊 5月に信号機がない横断歩道で4人の中央

「その他の質問」

●多目的広場の活用

●シーメイトのサウナ中止の理由



▲プラのごみ袋

地方分権

自治組織の再生は

答弁：実現のため努力する

吉田 耕二 議員



吉田 国の財政は危機的な状況になっている。抜本的な財政再建を行うには、大胆な地方分権が必要との議論がある。そのような中、自治組織の再生は大変重要なテーマであるが、町長はその重要な

性についてどのように考えているのか。
町長 自主的な自治会活動が求められている。行政との協働を通して、地域を住みよくしたいという、住民自治の実現を目指す必要がある。

「その他の質問」

●専門職の育成

●全国学力テストの公表

●裁判員制度に関連した法教育のあり方

●町長の教育への思い

町長 強い意志と責任感を持って実現していく、と明言して頂きたい。覚悟のほどを問う。
町長 改革の時代を迎えている。町内会組織が自治組織として再生され、

協働の自治

条例化への考えは!

答弁：機運の醸成に努める

二宮 美津代 議員



二宮 協働のまちづくりを地域コミュニティづくりに特化して進める手だては。

総務課長 具体的に提示はむずかしい。常設の住

民と行政のまちづくり会議で協議していく。

二宮 全住民の生活に係る問題である。町の施策に直結する課題に取組むためにも条例を制定し、行政・議会・住民の役割を明確にし、志免町独自の方策を考えるべきでは。

町長 現段階では協働事業実行計画書を策定し、それにそって進めたい。まちづくりの基本となる条例（志免町自治基本条例）の制定については、

まず、機運の醸成、その目的に向って住民の認識が高まった時に行いたい。二宮 機運の醸成のために何が必要か。
町長 私どもも含め、意識改革、啓蒙啓発を行い、さらに勉強していかねばならない。

「その他の質問」

●第5次総合計画の策定

●火災報知機設置に助成を



▲火災報知器設置に助成を